

道路工夫の激勵

有田 富次

川岸 彌作

明治二十年十二月二十八日生

北海道は國道三線此の延長五百九十五軒地方費道五十五線此の延長三千八百餘軒地方費道百二十三線此の延長三千二百餘軒と此の外に拓殖費支辨の町村道二千二百餘軒と合計九千八百軒に垂々とする道路を有して居る。此の道路の維持修繕に日夜營々として酷寒酷暑を厭はず不言實行黙々として二十有餘年間其の業務に服し、常に道路を最良の状態を保つ様創意と工夫を凝し不斷の努力を續けて居る本道々路工夫三百名中より特に精勵恪勤にして且技術の優秀なる者三名を銓衡して本道拓殖の隠れたる功績者として紀元節を卜し長官より金一封を添へ其の功績を表彰し且將來一層奮起して勉勵する様訓示を與へられた、尙此の表彰を受けたる工夫には正帽に白線三條を纏附させて他の工夫の模範たるを表徴せしめ又一週間の慰勞出張をさせる特典が與へられて居る。

今回表彰を受けたる三名の功績の概要を記せば次の如くである

功績概要

北海道廳帶廣土木現業所勤務

右者大正五年五月十六日道路工夫として帶廣土木現業所に就職爾來二十六年の長年月に互り常に道路橋梁維持修繕の第一線に立ち酷寒酷暑を厭はず日夜營々として其の業務に服し本道交通施設の完璧に努め勞々多數の後輩工夫を養成し其の功績は蓋し甚大なるものあり本道拓殖の隠れたる功勞者として昭和十六年四月二十九日天長節の佳辰を卜し乙種表彰（土木現業所長表彰）を行ひたるに益々奮起して其の成績向上せるものありて他の模範とするに足るを以て今回長官表彰を行ひ其の功勞に酬みたり

北海道廳釧路土木現業所勤務

藤原 久 藏

明治二十五年三月五日生

右者大正七年十月四日道路工夫として釧路土木現業所に就職し爾來二十三年の長年月に互り剛健なる思想と頑健なる體軀を以つ

て良く上司に従ひ酷暑酷暑を厭はず常に道路橋梁の維持修繕に努め交通施設の完璧を期したる功績は甚大なるものありて昭和十五年四月二十九日天長節の吉辰を卜し乙種表彰を行ひたる處益々奮起して其の成績向上せるものあるを認め更に今回長官表彰を行ひ其の功勞に酬ひたり

北海道廳小樽土木現業所勤務

藤 見 實

明治三十一年十一月八日生
右者大正九年五月一日道路工夫として札幌土木現業所に就職爾來二十一年の長年月に互り終始一貫せる信念を堅持し常に道路橋梁の維持修繕に邁進し優秀なる技術を以て本道交通施設の完璧に努め其の功績顯著なるものありて昭和十五年四月二十九日天長節の吉辰を卜し乙種表彰を行はれたるに爾後益々勉勵し其の成績向上せるを認め今回長官表彰を行ひ其の功勞に酬ひたり

道路愛護功績者表彰式の舉行

宮城縣土木部道路課

大東亞聖戰下赫々たる皇軍の戰果に一億國民は歡喜感激して居る目出度紀元の佳節に當り本年も各町村道路保護組合及修路夫の成績を厳正公平なる審査の上昭和十六年度道路愛護成績優良者として左記の組合及修路夫の表彰式を舉行せり。

表彰式は道路保護組合の一等たる本吉郡階上村、刈田郡小原村名取郡下増田村の三組合は午前十時半縣會議事堂に於て御下賜金傳達式に次いで各種の功績者表彰と共に嚴肅に執行された道路改良會長より表彰せられたる本吉郡階上村は其の席上知事より表彰

狀を傳達せられたり。

二等以下の保護組合及修路夫は同日各所屬土木事務所に於て本廳より夫々知事代理を派遣の上嚴かに傳達式を舉行せり。因に受賞者並に表彰者氏名及知事代理挨拶左記の通り。

宮城縣知事表彰狀

賞 狀

道路保護組合

作業成績優良ニシテ他ノ範トスルニ足ル仍テ道路保護獎勵規程